

まつさか**若**者クラブ

～MYC～

市長への提案



平成29年11月11日(土)
松阪市役所 5階会議室

松 阪 市

目 次

私はこんな 10 年後の松阪に住みたい

松阪牛の他に特産品を世界に発信している松阪（宮村政俊）	1
子どもや若者、観光客が多い活気のあるまち（杉本日向子）	2
外との積極的な活発な交流、往来のある松阪/魅力のある松阪/ 〇〇してみたい松阪 → 〇〇できる松阪（可能性を目指す）（中島一成）	3
日本一子育て中の保護者さんが子育てに関して/ 気軽に相談や話し合いができる町（中野元晃）	4
定住するなら松阪！！元気、活気あふれる松阪！！！！/ 松阪に住んで、移住して、良かったと思える街づくりを目指す（吉田 敦）	5
エネルギーの地産地消化された街（金児達也）	6
今日も良い1日だったと思える松阪（夜の時間の充実）（榎屋晴香）	7
不安が少ない街（中西健児）	8
日本らしさの残る松阪市（水野瑠美）	9
松阪への玄関口である駅、綺麗で自慢の出来る松阪駅を見たい（森本春那）	10
合計特殊出生率 全国 No.1。/ しあわせをつかみやすい・子育てもしやすい街に（赤堀哲志）	11
市と市民の関係が密接な町/ 市民が主体的に町づくりをできる町（市はそのための構造づくり）（大橋礼弥）	12
子どもからお年寄りまでみんなが住みやすく楽しい町（勝 亮太）	13
高齢者における、要支援・要介護認定者割合 全国最低の都市（山田瑛一朗）	14
“寄りたい”と思えるまち（伊豆田万悠子）	16
充実した1日をすごせる町（松浦涼太）	17
皆が楽しめる松阪、民度の高い松阪（中村正樹）	18
移住してでもここで！と思えるストレスフリーな楽しい子育ての街（山本智子）	19
子どもも大人も障がいのある人も障がいのない人、/ 誰もが松阪に住んで良かったと言われる街に住みたいです（奥山友美）	20

若者から老人まで、松阪に住む人々が松阪への愛着を持ち、 /

松阪に残りたいと思える松阪に住みたい（村井拓汰郎）	21
人の活気が常に溢れた松阪（根間大輔）	22
若い世代が将来に対する不安がない松阪市になって欲しい（宮村政俊）	23
地元の人からも 市外、県外の方からも気になる存在の松阪（縄手佑美）	24
障がい者にやさしいまちへ/障がい者でも観光しやすいまちへ（森田めぐみ）	25
社会保障が充実し、人口増加が見込める街（金児達也）	26
出産と育児に安心な街（金児達也）	27
市民重視の市役所、市民目線で考える。 /	
お役所仕事しているなんて言わせない。【あたらしい★松阪市役所】（平田雄也）	28
市内、市外の人による活気あふれる松阪市（池田奈央）	29
若者の生きがいを持てる松阪（根間大輔）	30

まつさか目撃者クラブ ~MYC~ 市長への提案

氏名 宮村 政俊

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

山海に恵まれた自然豊かな土地であるものの、そのぶん耕作放棄地や休耕田が多く、土地の有効活用がなされていない。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

松阪牛の他に特産品を世界に発信している松阪

それに向けて提案します。

耕作放棄地を活用し、松阪木綿の原料となる綿花を栽培する。

幸いにして松阪木綿の品質は非常に優れたものである事から、多種多様な製品に応用が可能のため、木綿製品の幅を広く取る事ができると考えられます。

また、綿花農家や加工業者等、松阪木綿に限らず、松阪市ならではの特産物に関わる事業に対して資本を含めた支援をしていただくと活性化すると思います。

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 杉本 日向子

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

少子高齢化や若者の人口減少

私はこんな10年後の松阪に住みたい

子どもや若者、観光客が多い活気のあるまち

それに向けて提案します。

☆松阪市で野外音楽フェスを開催

- ・音楽というツールを使って松阪市をPR

↓

POPS、ROCK・・・若者向け

JAZZ・・・年配向け

「音楽」はどの年代にも幅広くアプローチをかけれる

- ・フェスを開催することでボランティアが必要となる

↓

松阪市の若者が参加すれば、
活気ある地元の姿をみて、住み続けたい
というきっかけの1つになるかもしれない。

◎他市、他県からの来場者には松阪市を知ってもらうきっかけになり、松阪市民には改めて地元を好きになってもらえるかもしれない。

まつさか^図者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 中島 一成

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- ・現状で松阪生まれや由来のブランドや文化にあふれ、その界隈では広い知名度もある。
- ・しかし、それぞれのブランドの連想から松阪自体を想起させることは少なく、松阪のひと、由来の人自身の松阪に対するネガティブさから、つながりを生み出せず、発展にならなかった。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

- ・外との積極的な活発な交流、往来のある松阪
- ・魅力のある松阪
- ・〇〇してみたい松阪 → 〇〇できる松阪（可能性を目指す）

それに向けて提案します。

「津とこの松阪の連携でみえのまんなかを目指す、中勢まちづくり構想」

主に—

- ①山道、名松線と点在する北畠史跡を中心とした中山間部地域ブランディング。
- ②津松阪港の港湾機能と海運による地域ブランディング。
- ③元々もっている産業、企業、人物といったブランドの中勢を基盤にした観光の地域ブランディング。

目的—

三重県の中央域である松阪と津がそれぞれで抱えている長所、環境を対外的に結びつけて、「中勢」の連携で、「伊勢志摩」ブランド、四日市市や鈴鹿サーキットを抱える「北勢」に匹敵するレベルのこの地域をあらゆる総合的な地域ブランドにして、三重県下のなかで空白地域化した今の状態を改善させる。

まつさか困者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 中野 元晃

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- 健康センター「はるる」が出来て、施設内にあるすくすくスタジオや毎月行われる乳幼児健康相談で子育ての悩みや不安について相談できる。
- 子育て中の保護者さん同士で気軽に子育てについて話し合いができる施設が身近に必要。
- 松阪市では地域子育て支援センターや「はるる」で子育てに関するイベントは行っているが、松阪市の魅力を活かした場所で子育てに関するイベントをたくさん行っていくことが必要。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

- 日本一子育て中の保護者さんが子育てに関して気軽に相談や話し合いができる町。

それに向けて提案します。

- 子育て経験のある高齢者が、子育て中の保護者さんに子育ての悩みや不安ごとを相談できるイベントや、又高齢者から子育て中の保護者さんに向けての子育てに関するセミナーを「はるる」で行う。
- 嬉野町や中川町に住んでいる保護者さんのために、健康センター「はるる」のような施設が嬉野町や中川町の近くにもあると、近くて気軽に足を運んでくれると考える。
- カラオケボックスみたいに個室になっている部屋で、利用料が安くて長い時間利用でき、子育て中の保護者さん同士で人目を気にせず子育てについて話し合える施設が必要。(子どもたちも一緒に利用できるように個室に玩具で遊べるような環境を準備しておく)。
- 子どもを登園・降園させた後、ママ友の憩いの場所として利用できるように、幼稚園・保育園の近くにママカフェを作る。又子育て中のママさんがママカフェを利用すると飲み物が一杯半額になるといったサービスをし、より気軽に立ち寄りやすいようなシステムを作る。
- 松阪市の魅力ある豊かな自然を活かし、自然ある場所で子育てに関するイベント(例えば自然と関わることができるママさんウォークラリーなど)をたくさん行っていく。豊かな自然と関わる中で、子育てに不安や悩みを抱える保護者さんも自然と心が落ち着きリラックスできることや、子育ての悩みについても相談しようという気持ちが生まれるきっかけになると考える。

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 吉田 敦

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

課題：若者世代の定住・人口減少

大学進学や就職を機に、松阪市から離れてしまう人が多い。少子化による人口減少も合わせて松阪から人がどんどん少なくなっている現状がある。

※テーマ 政策7「市民のための市役所」

私はこんな10年後の松阪に住みたい

定住するなら松阪！！ 元気、活気あふれる松阪！！

松阪に住んで、移住して、良かったと思える街づくりを目指す。

それに向けて提案します。

【挑戦することを応援する松阪】

対象 …… 地元住人、移住してくる人。

市役所の役割 …… 支援&マッチング（橋渡し役）サービス

ポイント …… 「お金の支援ではなく、問題解決、生きがいを見つけること、知識を得ることなどのきっかけづくりを市役所が担う」

内容 …… 市民（移住も含む）の皆さんは、下記内容の一つを選択し、市役所から支援を受けることができる。

・仕事を求める【新しい仕事に挑戦】

仕事を探す人⇄市役所⇄地元産業の後継者を探している人

・起業【自分のお店を持つことの挑戦】

店舗を探す人⇄市役所⇄空き家の使い道に困っている人

・リタイア後の生活【セカンドライフの挑戦】

農業をやりたい人⇄市役所⇄耕作放棄地で困っている人

・子育て【初めての子育て挑戦】

子育てを安心してしたい人⇄市役所⇄保育園や幼稚園の時間外預かり所(保育ママ)

・教育や学業【新しい知識習得への挑戦】

新しい知識を学びたい人⇄市役所⇄特定のスキルに特化した人

★市役所が、それぞれが必要としている市民同士をつなげる役割を担う。

★新しいこと（挑戦）を始めることで、それぞれモチベーションアップにつながる。

★コンサルタントによる単発的な事業ではなく、市民自らが行っていき、自分たちでノウハウを身につけることにより、継続的な事業とする。

まつさか困者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 金児 達也

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

(課題) エネルギー (主に電力) 課題=需要と供給のバランス、災害対策など

私はこんな10年後の松阪に住みたい

エネルギーの地産地消化された街。

それに向けて提案します。

● 省電力発電省消費された街。

【目的】

電力の発電を地域ごとに行うことで、電力の発電と供給を他の地域に頼らない。つまり常に電力を買い続けるということを行わない。

【方法】

小水力、小風力、小太陽光、バイオマスなど、設備投資を少なくし、小さく生みだした電力を集め、その地域で消費していく。

例えば、運動公園や小・中学校などの公共施設で試験的に導入し、将来的に田畑の引水で小水力発電なども行う。

【課題】

- 発電可能地の設定や、発電条件など法の整備。
- 開発業者または設置業者など、民間企業との連帯。
- 推進するための初期投資の補助金の設定。

【効果】

- 電力自給率を上げることで、松阪市の財政的自立を促す。(財政力指数の向上)
- 災害時、原子力や火力、メガソーラーは事故発生時の危険度合いが高く、復旧もされにくい
ため、小電力発電でリスク回避を試みる。

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏 名 榎屋 晴香

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- [魅力] ・本居宣長さん、三井家、蒲生氏郷さんなどのストーリーがある。
- ・物理的な場所（寺・城・記念館・公園等）がある。
 - ・気候温暖
- [課題] ・観光客が松阪に泊まってくれない。
- ・市民が利用する服屋・雑貨屋・美容院等がすぐ閉まり、夜の時間をもてあます。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

今日も良い1日だったと思える松阪（夜の時間の充実）

それに向けて提案します。

- 松阪の一夜**
- ・PM8:00～10:00を充実させる。
 - ・ストレス解消/新しい経験/非日常（市民）
 - ・観光客の方に 夜 松阪観光をしてもらう



- ・昼はおかげ横丁、鳥羽水族館などに行く方が多数
- ・夜ご飯に松阪牛を堪能してもらって、松阪について学んでもらってそのまま泊まってもらうコースを提案

[場 所]

松坂城跡
商人の館
鈴の森公園
寺院・公民館・・・

[内 容]

本居宣長さんのお話
松阪牛のお話
三井家の知恵
氏郷さんの生涯・・・

[遊び心]

桜、映画会、
鈴、キャンドル、
松阪牛ステーキ、
茶道、マルシェ、
松阪もめん・・・

<実現に向けて・・・

- ・ホテルや旅館、観光協会等？と連携して観光客を参加者に。
- ・観光客だけでなく市民にも呼びかけ松阪を再発見してもらう。
- ・「楽しい」と「日常じゃ体験できない」が最優先。ついでに松阪の新たな一面を発見できれば良い。

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 中西 健児

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- ・セーフティネットのさらなる拡充

私はこんな10年後の松阪に住みたい

- ・不安が少ない街

それに向けて提案します。

現在、松阪市において各分野のセーフティネットについて対応がなされているのは承知しています。しかし、まだまだ手薄な所や、まったく手を付けられていないまま放置されている分野もあります。わたしはその分野に行政の関心を向けていただくために、二つの施策を提案します。

1、離婚後の子ども養育への支援

（理由）松阪市には親の離婚や別居が起きることで表面化する子どもの養育問題、すなわち面会交流や養育費について対応するセーフティネットがありません。3組に1組が離婚を経験する現代において、松阪市もこの例外ではなく、それに加え少子化や国際結婚、また養育への意識変化により問題は複雑化の一途を辿っています。松阪市だけではなく全国的に対応が遅れていると思いますが、長期間にわたり子どもの成育に大きな影を落とすこれらの問題が起きた時に解決への支援を求める市民ニーズに、是非とも、対応していただきたいのが目的です。

2、DVやハラスメントへの支援

（理由）松阪市でこれらへの対応は行われています。しかし、この分野においてはポジティブアクション（積極的格差是正措置）が施策の原理として置かれていることもあり、その結果、男女間で大きな格差がうまれています。平成26年度松阪市男女共同参画市民意識調査において男女共にDV、ハラスメントを経験したことがあるという結果があります。しかし、その対応として確認できるのは女性向けの相談窓口のみで、その啓蒙や広報もおおむね同じ状態です。松阪市男女共同参画プランにおいて「あらゆる暴力の排除に向けて」という目的がありますが、現在のセーフティネットではこれらに対し効果的に機能していないのが現状で、これの是正が目的です。

最後に

これらの問題に直面した当事者間では法廷紛争に発展する事例が多く、また、当事者間に子どもがいる場合は、その子ども達に深刻な負担が加わっている事が多く、相談を受ける側で一定の知識と経験が必要だと思えます、これには官民間問わず多くの人材の発掘と育成が必要です。そして、今後増えていく解決の場として裁判外紛争解決手続き（ADR）にも着目していく事が肝要と強く考えます。

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 水野 瑠美

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

通過地点とならないように、もっと観光の魅力を作る必要がある。
松阪木綿を観光資源として利用できる。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

日本らしさの残る松阪市

それに向けて提案します。

『松阪木綿で旅する松阪市』

松阪木綿を使ったビジネス、イベントの提案。

着物→非日常を味わう（旅の醍醐味、老若男女問わずポイントとなる）日本らしさ（外国人に受け入れられやすい）

松阪木綿レンタル事業

駅などに松阪木綿をレンタルできる施設を構えて、旅の前に観光客に着てもらおう。そのまま松阪木綿を着た状態で、観光をしてもらう。

あらかじめ市内の商店街の店や、飲食店、旅館、観光スポットなどと提携し、松阪木綿を着て訪れた観光客には特別なサービスや割引を行い、もてなす。

旅の最後には、松阪木綿を使ったグッズなど形に残るものをプレゼントし、松阪木綿の知名度を上げるきっかけとする。

効果

- 観光地としての魅力度向上による観光客の増加。
- 一部ではなく市全体の規模で行うことで、より幅広いサービスの提供が可能となり、市全体で観光面の発展を盛り上げていこうという意欲向上につながる。
- 松阪木綿による松阪市の知名度向上。

やるべきこと

- ✓松阪木綿を取り扱う店を中心とした、市全体の提携
- ✓観光案内設備の充実
- ✓外国人観光客への対応力向上

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏 名 森本 春那

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

松阪の魅力は、様々な特産物があることです。「松阪牛」というブランドがあるため、松阪の地名は比較的知られています。魅力的な物が数多くあるのだから、ピーアールする場を設けたい。そのため観光客のお客様を呼び寄せるためには、玄関口である松阪駅を再開発することはとても重要であると考えます。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

松阪への玄関口である駅、綺麗で自慢の出来る松阪駅を見たい。

それに向けて提案します。

私がまだ幼稚園に通っていた頃、松阪駅には三交百貨店が隣接していました。私は三交百貨店へ行く事がとても楽しみであり、毎週末おじいちゃんに連れていってもらっていました。当時の三交百貨店は、大勢の人で賑わっており、そのお祭りのような感覚がとても大好きでした。知らない人が行き交う風景が、どこか刺激的で不思議な体験だったためです。私が大きくなって三交百貨店を振り返ってみると、様々な面で良いことがあったなと感じます。それは、松阪の玄関口が楽しいということです。観光のため松阪駅を訪れる方は、最初に三交百貨店を目にします。百貨店はたくさんの物が揃えられておりキラキラしています。それを見た観光客の方は、この街には他にどんな魅力が溢れているのだろうとわくわくしてきて冒険心をくすぐられ、旅への期待度が高まります。また、電車で通勤通学する人々は、中途半端な待ち時間をもたない時間ではなく、楽しい時間にすることが出来ます。ただ暇な時間を過ごすのではなく、新しい何かを探す楽しい時間を過ごすきっかけとなります。

このように、駅が変わると人々の感じ方が変わっていくと考えます。今後予想される巨大地震に対しても、早急な建物への耐震工事の見直しが必要になります。そのため、やるべきことは玄関口である松阪駅の再開発です。JR や近鉄が松阪市と組んで、駅を魅力的にすることが重要だと考えます。そしてさらに、百貨店などのお店を多く呼び寄せることが出来れば大きなステータスとなります。駅が変わるだけで松阪市への印象は大きく変わると考えます。また、松阪には何があるのと聞かれて、駅に綺麗な百貨店があるよと答えられることが松阪民としての誇りになります。駅を綺麗にして、尚且つわくわくする施設があれば素敵です。これらが、私が今後松阪に住み続けたいと思う理由の1つです。

まつさか**弱者**クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 赤堀 哲志

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

結婚したいと思っても**運命の人**と巡り合えない。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

合計特殊出生率 全国 No.1。しあわせをつかみやすい・子育てもしやすい街に。

それに向けて提案します。

- ・ **少子対策課**を市役所に置く。
- ・ 各振興局に**出逢いサポートセンター**を設置。
- ・ 各住民協議会から**出逢いサポーター**を選出。
- ・ 出逢いたい人を**マイナポータル**を使い、登録してもらい、出逢いサポーターが**面接**。
- ・ 婚活会社から講師を派遣してもらい、各地で**恋愛講座**を開催。
- ・ 出逢いサポーター同士が出逢いたい人を**マッチング**し、お見合いの場や**合コン**をセッティング。※松阪市の特産物や各地の素材を提供。
- ・ マッチングしたら出逢いサポーターの所属する**住民協議会への補助金**をUP！
- ・ マッチングした二人が市や各住民協議会、地元主催の催し/活動に参加すれば市内で利用可能な**地域振興券**や**割引券**を贈呈。
- ・ 松阪市の人口増による税収増につなげるまでに時間がかかるため、**財源**については**クラウドファンディング** (crowd funding*) を利用する。

* 不特定多数の人からインターネットを介して資金を集めること。

氏名 大橋 礼弥

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- 情報発信の方法に課題がある
- 市と市民の関係性にも課題がある

私はこんな10年後の松阪に住みたい

- 市と市民の関係が密接な町
- 市民が主体的に町づくりをできる町（市はそのための構造づくり）

それに向けて提案します。

政策：夜のランニング・ウォーキングイベントの実施（週1～隔週程度の実施）

マラソンイベントに注目した理由：波及効果が大きい

- 健康面：運動の増加、運動習慣のきっかけ
- 防犯：不審者の発見、高齢者の徘徊の発見
- 社会面：関心度が高い、地域の関わり合い、情報収集・発信の場

★PR力を向上させるためには？

①市民が関心のあることを聞くこと（意見を言いやすい環境づくり）

- 手軽に意見を伝えることができる
- 様々な人の本音を聞くことができる

②直接伝える

- パンフレットを配る
 - アンケート調査
 - その場で疑問点に答えることができる
- 市民が市についての情報を得やすい環境づくり、意見を言いやすい環境づくりをすることが重要
- 市が市民に直接意見や情報を伝えられる環境づくりも重要

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏 名 勝 亮太

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

歴史や文化が駅圏内でふれる事が出来る。
インパクトのあるイベントや催しが少なくアピール力が弱い。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

子どもからお年寄りまでみんなが住みやすく楽しい町

それに向けて提案します。

駅前に文化や歴史をアピール出来る楽しい催しを企画します。(氏郷祭りにかわる楽しいイベント) ①
松阪もめん、松阪牛といった名産品の即売会を企画します。②

まつさか患者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 山田 瑛一朗

私を感じる松阪の魅力もしくは課題

魅力：新しいものを進んで取り入れる、商人気質のDNA

課題：①医師間ネットワークが三重県内留まりであること

②認知症患者の増加

③既存サービスの認知度が低い

私はこんな10年後の松阪に住みたい

高齢者における、要支援・要介護認定者割合 全国最低の都市

それに向けて提案します。

①市によるセカンドオピニオンネットワークの構築

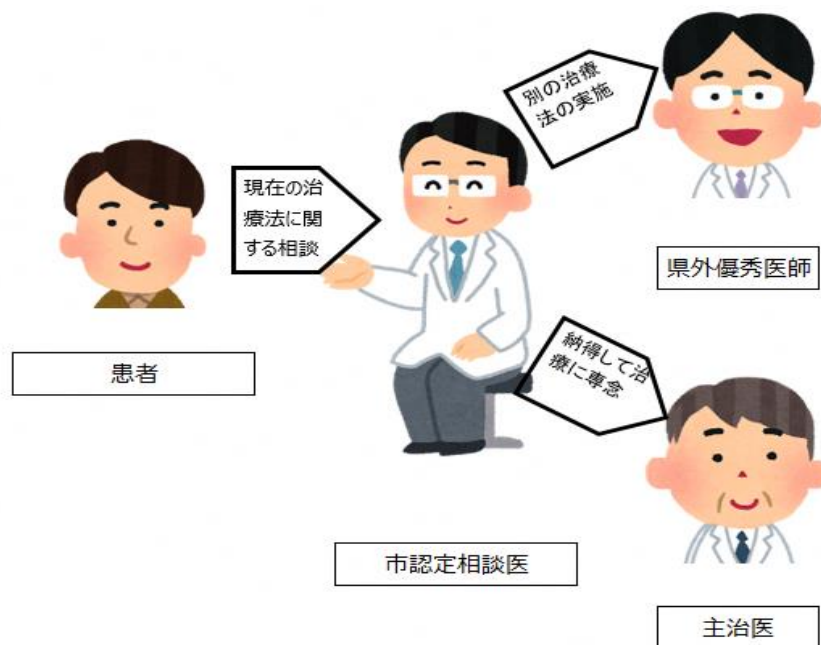
- ・分野ごとに専門相談医を市が選定

市内の開業・勤務医から募り、無償でセカンドオピニオン相談を行うもの。

県外医療機関とのネットワークは、行政主導で拡大していく。

- ・一般的なセカンドオピニオン外来は主治医返しが原則。

また、専門医に当たれないことも多い。1時間1万円～とコストも高い。



特に、大腸がんや乳がん治療だと、外科手術の実施により人工肛門や切除となる可能性が高いため、今後のQOLに多大な影響を与える。自身の納得した治療に当たるということが肝要となるため、市民の治療選択に大きなメリットをもたらすと思料。

②65歳以上を対象とした、無償でのMCIチェックテスト実施。(はるる等で実施)

- MCI (Mild Cognitive Impairment 軽度認知障害) を判定。

テストは簡単なもの。

- i. 10個程度のキーワードを読み上げ、被験者に復唱させる。
順番に、正確に、キーワードを読み上げてもらう 作業を数回行う。
- ii. 動物を3種類挙げ、仲間外れと思うものを問う。10回程度行う。
- iii. iのキーワードを再度読み上げてもらう。

認知症の前段階から治療を促進し、認知症発症を防ぐ。

認知症は、発症して以降は、治療を行っても悪化の一途であるが、

MCIの段階であれば治療が有効であり、発症を防げることが医学的にわかっている。

2025年、高齢者のうち認知症患者は5人に1人になると言われている。

行政サービスの運営、福祉人材の不足、徘徊による警察出動の機会減少など、認知症の撲滅は、社会的な意義が大きいものと思料。

③救急相談ダイヤル24 圧着カードを送付し、利用者数の拡大

市の刊行物などに同封させ、番号が記入されたカードと案内文書を配布。

いつでも、どこでも 利用できることを再度PRし、認知度向上をはかるもの。

最後に

別テーマですが…

津波の高さを視覚的に伝えることに大きな意味があると考える。

海拔を表記、看板の設置など伝達方法はあると思うが、視覚的なインパクトがあるべき。地域の予想津波高位を電柱に色塗りすることで、市民の危機意識を育むことができるのでは。

以上

まつさか困者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 伊豆田 万悠子

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

ぱっと思い浮かぶ魅力がない

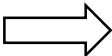
私はこんな10年後の松阪に住みたい

“寄りたい”と思えるまち

それに向けて提案します。

まず、現状として伊勢神宮や鳥羽・志摩が有名な中、三重県に観光に来る人は多いものの松阪には立ち寄らないという実態があります。

その現状を踏まえて、昔あったような伊勢街道で“立ち寄る松阪”をもう一度作るべきと思いました。そのためには、まず松阪の魅力を作ることが必要です。自然の豊かさやお茶、城下町といった良いところはたくさんあるけれど、それらを生かし切れていないのではないかと。松阪牛もひとつの魅力だが、食事をするだけで長居はしないので松阪を知ってもらう他の魅力が必要です。

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・お茶→自分だけのお茶作り、茶摘み体験・川が綺麗→川で魚をつかまえ、その場で調理して食べる・田んぼ→もっと増やして緑いっぱいの景色を作る・城下町→お店（飲食店）、宿泊施設を増やす。レトロ感を味わえる。 |  | <p>雇用 up
松阪市民の
知識増える</p> |
|---|---|----------------------------------|

これらの魅力を作り、ちゃちゃもを全国的に広めるなどをして、PR活動を活発にし松阪を知ってもらう必要があると思います。

広めたいので、バスツアーを行うことを提案します。伊勢・鳥羽・志摩のバスツアーに松阪を組み込むことで松阪の魅力をより知ってもらい、また寄りたい、来たいと思う人が多くなるでしょう。

このように、魅力を作ることによって寄りたいと思えるまちに変化するに違いありません。

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 松浦 涼太

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

走りやすい道路が多いため車でアクセスがしやすい。
良いところを活かしきれていない。
若者が楽しめる場所がない。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

充実した1日をすごせる町

それに向けて提案します。

観光に来る価値のある場所をつくる。

一面に広がる花畑や絶景スポット等、話題になれば人は来ると思う。

ないものは作る。絶景等は市民から写真等で募集しても良いかもしれない。

ただ楽しむだけでなく、食も楽しめるように、松阪市内のB級グルメ王者決定戦等を行うと宣伝になって良いのではないか。

(松阪市内に展開する店であれば良い。)

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 中村 正樹

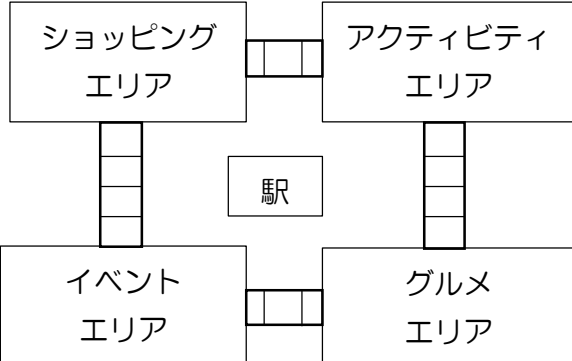
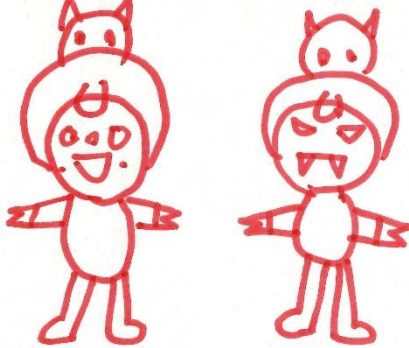
私が感じる松阪の魅力もしくは課題

魅力・バランスが良い
課題・インパクトがない

私はこんな10年後の松阪に住みたい

皆が楽しめる松阪、民度の高い松阪

それに向けて提案します。

<p>松阪駅大改造計画</p> <p>1日遊べる施設</p>  <p>ショッピング エリア</p> <p>アクティビティ エリア</p> <p>駅</p> <p>イベント エリア</p> <p>グルメ エリア</p>	<p>チャチャモ大改造計画</p>  <p>表チャチャモ</p> <p>裏チャチャモ</p>
<p>フェス</p> <p>音楽フェス コンテスト グルメフェス スポーツフェス他・・・</p>	<p>教育</p> <p>アクティブシニアと連携 市の建物を使って 安い塾や習い事を 学べる場所を作る</p>
<p>松阪牛より安価で気軽に食べれる特産物を作る。 松阪鳥などブランド化（オーガニック野菜などを食べさせたオーガニック鳥など）</p>	

まつさか困者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 山本 智子

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

松阪は子育てしやすい！

●医療体制の充実

(大きな病院。夜間診療。医療ダイヤルなど案内経路が明確。小児科の待ち時間が少ない。)

●祖父母世代の育児協力が多い

(“商人の街・松阪”だからか3世代近居や、遠くても助けるのが当たり前と考える人が多いと感じる。)

私はこんな10年後の松阪に住みたい

移住してでもここで！と思えるストレスフリーな楽しい子育ての街

それに向けて提案します。

「情報提供」から「情報共有」へ。得意分野をシェア、双方向で活用してより良い支えを。

(メルカリ atte やジモティーのイメージ)

⊕子どもと1時間離れるだけで、信じられない位リフレッシュできるんです。

場所がない⇒ある！

パートナーの協力はあるが、週末や帰宅後に子どもを連れ出せる場所が無い。

●週末の支援センターOPEN

1、2か所が良い。遠くても車で行けるので。

●夜のキッズスペース

ワークセンターなど夜間OPEN 施設に併設。

マット敷きフリースペース程度で十分。

●空き家活用

⊕子育て中はなかなか予定が立てづらいんです。

イベントがない⇒生かす！

都市部で受けられる子ども向けスクールやプログラム体験など大手企業のイベントは名古屋止まり。

●地場産業を生かした体験見学を提供。

近所の〇〇さんの「田植え見れます」「いばら饅頭蒸します」

「芋ほりします」「河原の除草してます」

公民館のカルチャーサークルが見学可能。

見学だけで子どもは喜ぶ。そして、すぐ飽きる。見学可能なイベントをカレンダーでwebに。規約同意なども。

●「今なら行ける」と思った時に行ける

⊕ママが友人を作るのに、学生時代のような時間の使い方はできないんです。

会えない⇒会える！

同じ境遇・同じ悩みの人に会い辛い。

母子モ(三重)よかプリコ(四日市)のアプリは成長データ記録の面が強く、掲載情報もHPと同じもの。

●マッチングサイトの様にニーズが合う人と出会うまでの時間と距離を縮める。

親と同居で楽！の人もいれば、大変！という人も。

核家族でも地元で友人多い人もいれば、転居で孤独な人も。

⊕「今、ちょっとこっだけ手伝って貰えば何とかなるのに～」ってことが多いんです。

手が足りない⇒足る！

様々な事情でワンオペ育児中の人を支え合う。

●登録制の短時間のベビーシッターやシルバー人材の活用。

「30分500円」「自転車で10分」など事前登録、

「1時間以内で今から来れる人」etc ヘルプを互助。

まつさか障害者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏 名 奥山 友美

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

松阪市は他市と比べ障がい者にとって住みよい街として充実してきています。ですがまだその他の課題として、例えば医療費軽減、動くことが制限される交通機関割引など障がい者・家族には重い負担があります。他市ではできていることが松阪市でもできるようになってほしいです。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

子どもも大人も障がいのある人も障がいのない人、誰もが松阪に住んで良かったと言われる街に住みたいです。

それに向けて提案します。

障がいがあってもその人の個性と受けとめる。障がいといっても様々です。コミュニケーションが苦手な方（話すことが苦手、理解することが難しいなど）もいれば、部屋にこもりがちの方、人様々です。つまり、対人関係が苦手な方もいれば障がいを理解されず孤立する方、逆に障がいを知られたくないと思っている方もみえます。同じ障がいであっても違いがあるので、その人の障がいの特性を知ることが理解の一步につながると考えます。

今後情報収集・発信を考えていく。また、障がいのある方だけが集まって何かをするのではなく、健常者と言われる方、様々な障害の方が集まって交流する方法はどうでしょうか。松阪市内には空き家も多数あると聞いています。そのような空き家を利用して交流活動を行う。またショッピングセンターマームの場を活用したり、誰もが参加・活動できる「スポーツまつさあか」を設立するのも良いのではないのでしょうか。ソフトバレー、卓球、ドッチボール等身体を動かして参加者が汗をかいて笑顔になる。身体を動かすのが不得意な方には、趣味クラブ（例えば囲碁・将棋、習い事、映画会、コンサート等）その他市役所前や松坂城跡で朝市（太陽の光を浴びると良い）の開催等を中心に、人が集まり交流することは地域の顔が見える関係づくりができると思います。市役所前、松坂城跡と出したのは、松阪市民病院も近くにあり、患者さんにも散歩がてら参加してほしいという思いもあります。交流のねらいをきちんと理解することが大切にはなります。

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 村井 拓汰郎

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

松阪市には、良い歴史がたくさんあるが、若い人への愛着が少し薄いと感じる。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

若者から老人まで、松阪に住む人々が松阪への愛着を持ち、松阪に残りたいと思える松阪に住みたい。

それに向けて提案します。

若い人が松阪に愛着が湧くように、市がイベントを開催する。

イベントなどを通じて松阪を知ってもらおう。

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏 名 根間 大輔

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

課題：松阪駅を中心とした活気を取り戻したい

私はこんな10年後の松阪に住みたい

人の活気が常に溢れた松阪

それに向けて提案します。

朝は通学の学生、通勤の社会人、昼は買い物か散歩のご老人、夕方は帰宅のまばらな学生社会人、それに伴って朝夕の通勤帰宅ラッシュ。松阪の駅を取り巻く人の流れはこんなものです。それではいけません。松阪の駅周辺は松阪の象徴です。象徴は街の顔です。顔立ちを良くしようとショッピングモールを建造、商店街の活性化などを先に進めても、人がいなければ顔立ちは維持できません。

そこで僕が提案するのは、駅を中心とした半径5kmの空家空室を0%を目標とした寮化計画です。

この計画には松阪市だけでなく、松阪で運営している会社、空家空室の家主の協力が必要です。松阪市に事業主（人事担当も含む）、家主に対してセミナーを開いて協力を仰ぎ、市外出身者、地元で働きたい人に対し、寮として家賃の補助を検討してはいかがでしょうか。勘違いしないでほしいのは松阪市が補助を全て賄うという考えではありません。松阪市にはMYCのようなきっかけの場を用意して欲しいのです。

仕事があれば人が集まる、空家がなくなれば人が増える、人が増えれば消費が増える、消費が増えれば供給も増え、街が潤う。言葉にするのは簡単ですが、空家問題を解決すれば必ず、実現可能だと考えています。

まずは駅から半径5 kmの空家0%を実現し、会社側の人材確保が充実すれば、私の担当部署で話し合われた、障がい者の雇用への課題克服にも自ずと直結すると考えています。

以上を私の市長への提案とさせていただきます。

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 宮村 政俊

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

魅力 自然豊かでありつつ、交通の便も市街地においては整っており、住み良い環境である。

課題 市政や住民協議会の市民への認知度が低く、生産性の高い年齢層の参画が必要

私はこんな10年後の松阪に住みたい

若い世代が将来に対する不安がない松阪市になって欲しい

それに向けて提案します。

松阪市で五輪を開催したり、各種フェスを計画したりして、若年層への市政参画を推進します。

具体的なイベントの計画、立案にあっても若年層の意見を公募等で幅広く候補を出し、最終的に予算との衡量で決裁を上げます。

上記イベントは若者の市政参画を促す目的である事から、イベントを通じて「市」や「住民協議会」のPRを積極的に行なう事が重要だと思われます。

また、広報の手段として若者に受け入れられ易いアプリの立ち上げが効果的であり、市政参画の特典として市内で使える割引券の発行などが有効かと思われます。

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 縄手 佑美

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- 海も山もあって美しいもの、美味しいものがたくさんあることが魅力
- 若者が市外、県外へ出ていってしまうのが課題

私はこんな10年後の松阪に住みたい

.....
地元の人からも 市外、県外の方からも気になる存在の松阪

それに向けて提案します。

- 魅力を押し出すためにはアピール力が大切だと思います。

そこで、若者のほとんどの人がやっているであろうインスタやツイッターなどを使うことを提案します。インスタやツイッターに#松阪とつけてあげてもらった人に抽選で松阪の特産品をプレゼントしてはどうでしょうか。そのために松阪の名店の入口にポスターで告知や各テーブルに告知、もしくは、電車などのつりポスターに告知をすればアピールになるのではないかと考えます。

- 課題については、買い物する所や学校（高校以上）のものが無いことがあげられます。

特に私は学校について考えたのですが、私自身医療職なので、医療の専門学校を作るのはどうかと思います。せっかく松阪には3つの大きな病院があるので、そこで実習も出来て、就職も出来るとなれば、よりよい流れが出来るのではないかと考えます。

まつさか若者クラブ ~MYC~ 市長への提案

氏名 森田 めぐみ

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

福祉について

- 松阪市は手話言語条例の制定が早いほうだった。
- 災害に備えた学習会や、毎年マームでのまちかどミニ手話教室などイベントが行われている。

☆しかし、一般的に知られていない！

☆PR 不足、興味をもたせること！

私はこんな10年後の松阪に住みたい

- 障がい者にやさしいまちへ
- 障がい者でも観光しやすいまちへ

それに向けて提案します。

- 学校の課題の授業を設けて
- 会社の業務内に（市度との負担にならないように）時間を設けて
手話、点字の授業、勉強会をする
- 観光地松阪に、障がい者の方でも来やすいようにボランティアの強化ができるようにする。
- 会社での雇用枠があるので、企業がイベントに参加する。
まず、興味をもつ、関わることを提案します。

まつさか若者クラブ ~MYC~ 市長への提案

氏名 金児 達也

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

(課題) 人口減少(少子高齢化)による税収減と、それによる社会保障や行政サービスの低下。
若い世代の労働力の都市部への流出。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

社会保障が充実し、人口増加が見込める街

それに向けて提案します。

● 小中学校の一部施設を介護施設化。

【目的】

少子高齢化が進み、介護士と介護施設の不足を補う。核家族化が進む中で、社会としてご老人を見守る体制を整え、若年層にまたご老人と共に暮らす社会とはどういうことかと肌で感じてもらう。→将来的に新しく共生する社会の確立を目指す。

【方法】

学校の一部空き教室などを、介護施設として活用する。要支援や要介護の認定の低い方が利用できる。また定期的に学生と交流することで、ご老人の健康寿命の延長をはかる。

【課題】

- ・教育委員会と行政の福祉課とまたぐ事業のため、調整が必要。
- ・介護のための施設や防犯対策、事故対策が必要。

【効果】

- ・福祉施設の不足を補える。
- ・ご老人の健康寿命の延長。
- ・学生が高齢化社会を学び、共生する社会を新たに考えてもらう。
- ・老後の生活を明確化することで、定住者を増やす。

まつさか弱者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 金児 達也

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

(課題) 出産と保育の拡充

私はこんな10年後の松阪に住みたい

出産と育児に安心な街

それに向けて提案します。

● 出産お見舞い金の支給

【方法】

出産時に必要と言われる内祝いやその他ベビー用品に使えるお金として支給。約20万円程度。1800人で3億6000万円程度。

【効果】

「出産定住するなら松阪で！」と近隣他市町村からの移住者が見込める。税収UP。特に第二子、第三子の出産を応援する。人口減少対策。

● 保育現場の改善

【方法】

公立保育園に事務員・用務員の拡充をする。事務仕事、設備のメンテナンスを行う。また駐車場整理など保育にかかわらない仕事は再雇用者などを派遣し、仕事内容の改善をする。

【効果】

保育士の待遇改善は給料面だけでないと感じる。本来保育の仕事でないことを保育士が行うことで現場を支えている現状がある。専門職の人を何人か入れることで保育現場の改善を図る。また定年退職者の再雇用も積極的に行える。

まつさか困者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 平田 雄也

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

課題

市民のための市役所っていうけど、ホントにそう思う？

基本平日しか稼働していないのに・・・ 基本夜間に対応していないのに・・・

正職員が多いだけちゃうの・・・

なんか行きにくいし、行ってもわかりにくいし、使い勝手悪い・・・・・・・・

私はこんな10年後の松阪に住みたい

市民重視の市役所、市民目線で考える。

お役所仕事しているなんて言わせない。【あたらしい★松阪市役所】

それに向けて提案します。

①市役所、すべてのフロアの対人窓口は、

窓口対応時間、平日19時まで稼働、土曜日も17時まで稼働。日曜はお休み。

平日17時までしか窓口が稼働していないなんてありえない！

サービス業の就労割合が多い時代に、平日っていう概念が時代錯誤だと思う。土日休みの人が多いと思わないでほしい。

人件費がかかるといわれるかもですが、平日休むことをためらって、市役所に相談しにいけない人もいる現実をご理解ください。また、適切な人員配置を望みます。市民のニーズに合わせた市役所運営。

②他の市などで実施済みな、住民票受け渡しなどの仕事は、民間委託する！

民間に委託し、正職員の総数を減らす。民間委託の方がコストダウンできる。他の市でやっていて、松阪市で出来ない理由がわからない！

個人情報などの管理は正職員、それ以外は民間委託、ルール化すれば、できるはず。また、松阪市でも住民票などがコンビニ交付できるようにする。市役所行くのに不便な人にも対応するため、身近な市民サービスを希望します。

③市営住宅の管理、公民館の運営など、市で管理運営しなくてもいいものをリストアップしていく。民間に委託できるものは進める。ホンマに改革しようと思えば、市役所各課から意見が出て、すぐにリストアップできるはず。出来上がったリストを、市長に見せることをためらえば、前に進みません。目に見える改革を断行してほしい。そうじゃないと市民は分かりません。

④分館が多くてわかりづらい。窓口対応している課は、基本、本庁舎にするべき。窓口対応していない課を分館に配置すべきです。ひとつの建屋内で手続き終わらせたいです。

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 池田 奈央

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

- 祭りやイベントなどの催しや特産物など多くの魅力があるにもかかわらず知られていない。
- 松阪牛のイメージが強い。

私はこんな10年後の松阪に住みたい

市内、市外の人による活気あふれる松阪市

それに向けて提案します。

公式SNSアカウントの作成

- SNSを周知方法に加える（Instagram、Twitterなど）
- 若者をターゲットにし、市外、県外からの集客をUP！
- 公式SNSを作成し、定期的に投稿をする。
 - 写真付き、松阪市の特産物、店、食べもの、イベントなど
 - #松阪市#matsusaka などハッシュタグも付けて拡散！

- SNSを利用することで周知にかかる費用を削減
- 多くの人に一瞬で魅力を知ってもらうことができる
- 地元の人との交流もでき、地域のがんばる力UP！

メリット

まつさか若者クラブ～MYC～ 市長への提案

氏名 根間 大輔

私が感じる松阪の魅力もしくは課題

松阪は生活しやすいが生きにくい（生活するには申し分ないが、生きがいを感じる要素は少ないの意）

私はこんな10年後の松阪に住みたい

若者の生きがいを持てる松阪

それに向けて提案します。

若者の投票率全国1位を目指してはどうでしょうか。とても難しい課題ですが、他の自治体が行っていることを後追いで行うことを止め、松阪市独自の市政を掲げ実現するべきだと考えています。

他の自治体もMYCの様な活動をしていますが、活動を継続することが他の自治体と差別化の為にも重要です。大半の自治体はこの活動を継続していく事はまずないでしょう。なぜなら、若者の意見を尊重しても得がないからです。私自身、15年投票してきて自分達世代に直結した、市政を感じる事はありませんでした。

投票率が低いから当然の事です、若者の意見を汲んでも所詮は少数派の思いなのです。市長はMYC発足式の挨拶で市議会議員の平均年齢の高さ、若者の投票率の低さをどうにかしたい、若者の意見を汲み取りたいと、お話してくれました。

前置きが長くなってしまいましたが、私の具体的な提案としてはMYCに未成年者を増やして活動を続ける、その活動を新設したMYCのHPやSNSに掲載する、市議会議員選挙ごとのHPの新設です。

10年後を考えると市民と直結するネットの活用は重要です。今の市役所のHPの各部署の活動報告では物足りません。発案、経過、結果を掲載するHPを作成する事で自分たちの思いがどのような形で実るのかの過程を実感する事はとても大事です。

今年行われた市議会議員選挙をネットを使って調べてみましたが候補者の政策にあたるページにたどり着くことはありませんでした。あったとしても見つけられなければ意味はありません。自分たちの一票が松阪市にどう生かされているかを実感する為にも選挙のHPを作成する事は必須だと考えます。

市政を実感させる、私がMYCで実感できている様に10年後の若者にも感じてほしい。自分たちが行動した事が身を結ぶ事を実感できれば、この街に住む者の生きがいに通じ、この街に住みたい気持ちにさせると考えます。

以上をもって私の市長への提案とさせていただきます。